

## 朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

### 朝鮮労働党第4回細胞書記大会開催

2013年1月28～29日、朝鮮労働党第4回細胞書記大会が平壤で開催された。金正恩第1書記も参席し、初日に開会の辞を述べ、二日目には演説を行った。演説では「党細胞を強化することが全党強化の第一歩となるため、党中央は朝鮮労働党第4回代表者会議（2012年4月）後、党活動を改善するための最初の大会として細胞書記の大会を招集した」と述べた。

### 熙川発電所第2段階建設着工

2013年1月30日発、『朝鮮中央通信』によれば、同日、熙川発電所の第2段階（清川江階段式発電所）の着工式が平安北道香山郡で行われた。階段式発電所の建設は、金正日総書記の遺訓を貫徹する大自然改造事業とのことだ。着工式には崔永林総理、朝鮮労働党の金己男書記らが参加した。

### 全国軽工業大会開催

2013年3月18日発、『朝鮮中央通信』によれば、同日、平壤で全国軽工業大会が開かれた。金正日第1書記が演説を行い、崔永林総理が報告を行った。演説では軽工業の発展を人民の物質的、文化的な生活水準を高めるだけでなく、朝鮮の社会主義制度の優位性を示し、祖国統一を早める政治的事業だと位置づけるとともに、高い水準での生産正常化、製品の質向上、「人民生活資金」供給単位の役割向上、原材料の国産化、地方工業の発展、生産と経営の現代化、科学化、消費財生産拡大のための大衆運動、流通、販売などのサービス部門の改善などの必要性を指摘した。

演説ではまた、軽工業製品の生産拡大の資金確保と関連して、咸鏡南道端川地区の鉛、亜鉛、マグネサイトなどの採掘、加工、製品輸出の活性化と加工貿易の活性化が言及された。

### 朝鮮労働党中央委員会2013年3月全員会議開催

2013年3月31日発、『朝鮮中央通信』によれば、同日、平壤で朝鮮労働党中央委員会2013年3月全員会議が開催された。金正日第1書記が会議を取りしきり、党中央委員会委員、同候補委員、党中央検査委員会委員が出席した。

全員会議では(1)現情勢と革命発展の必要にあわせてチュチェ革命偉業遂行において決定的転換を引き起こすための党の課題について、(2)最高人民会議第12期第7回会議に提出する幹部問題、(3)組織問題が討論された。

(1)に関連して「経済建設と核武力建設を並進させることに対する新たな戦略的路線」が提示された。この路線の意図について金正恩第1書記は報告の中で「新たな並進路線

の真の優越性は、国防費を追加的に増やさなくても戦争抑止力と防衛力の効果を決定的に高めることにより、経済建設と人民生活向上に力を集中することができる」と述べた。(3)に関連して、朴奉珠が党中央委員会政治局委員に補選され、玄永哲、金格植、崔富日が党中央委員会政治局候補委員に補選された。

### 朝鮮民主主義人民共和国最高人民会議第12期第7回会議開催

2013年4月1日、平壤の万寿台議事堂で最高人民会議第12期第7回会議が開催された。会議では、最高人民会議の法令(1)「朝鮮民主主義人民共和国社会主義憲法の一部の内容を修正・補充することについて」、(2)「朝鮮民主主義人民共和国錦繡山太陽宮殿法を採択することについて」、(3)「自衛の核保有国の地位をいっそう強固にすることについて」、(4)「朝鮮民主主義人民共和国宇宙開発法を採択することについて」が全会一致で採択された。また、最高人民会議の決定「朝鮮民主主義人民共和国国家宇宙開発局を設けることについて」が採択された。

会議では朝鮮民主主義人民共和国内閣のチュチェ101（2012年）の活動状況とチュチェ102（2013）年の課題について、朝鮮民主主義人民共和国のチュチェ101（2012）年国家予算執行の決算とチュチェ102（2013）年の国家予算についてが報告、討議、採択された。昨年の国家予算収入（歳入）は予算比1.3%増となり、地方予算収入は予算比13.8%増となった。国家予算支出（歳出）は予算比0.4%減となり、前年比9.7%増となった。昨年の国家予算支出に占める経済発展と人民生活向上のための支出は44.8%、人民的施策費と社会文化施策部門の支出総額が38.9%となった。軍事費は比率が発表されなかった。

今年度の国家予算収入は前年比4.1%増（うち取引収入金が3.5%増、国家企業利益金が6%増、協同団体利益金は5.3%増、原価償却金が2.8%増、不動産使用料が3.4%増）となっている。収入に占める中央と地方の割合は83対17となっている。国家予算支出は前年比5.9%増（うち石炭・電力・金属・鉄道運輸部門が7.2%増、農業と軽工業部門5.1%増、建設および大補修をはじめとする基本投資5.8%増、科学技術部門6.7%増、教育部門6.8%増、保健部門5.4%増、社会保険および社会保障部門3.7%増、体育部門6.1%増、文化部門2.2%増）となった。軍事費は比率が発表されなかった。

最後に組織問題が討論され、朝鮮労働党中央委員会の提議によって、朴奉珠・党中央委員会委員が首相に任命された。同氏は2003年9月から2007年4月まで首相を務めた。崔永林前首相は、最高人民会議常任委員長兼名誉副委員長となった。金正党・元人民武力部長と李明秀・元人民保安部長が国防委員から解任され、金格植・人民武力部長と崔富日・人民保安部長が国防委員に選出された。

(ERINA調査研究部長 三村光弘)